令和８年度　第１回国民健康保険運営協議会議事録

1. 日時・場所

令和８年 10 月 21 日(水)　午後 2 時 00 分～午後 2 時 40 分

知立市役所 4 階 403 会議室

2. 出席者

委　員：公 益 代 表　　清水　弘一、倉田　美恵子、近藤　喜代治、高橋　敦子

医療機関代表　　大橋　均、宮本　史生

被保険者代表　　苅部　美恵、岸野　利恵

（欠席：医療機関代表　神谷　雅人、近藤　由幸

被保険者代表　加藤　貴代美、河村　京子）

事務局：保険健康部長、国保医療課長、国保年金係長

3. 報告事項

(1) 令和７年度国民健康保険事業特別会計の決算について

(2) 令和８年度国民健康保険税の状況について

4.諮問について

国民健康保険税の改正について

(1)課税額（税率等）の検証について

5. 概要及び経過

（午後 2 時開会）

進行：国保医療課長

(1) 市長あいさつ

(2) 市長より会長に諮問書の授受

(3) 会長あいさつ

(4) 議事録署名の選任

議事録署名：倉田委員、苅部委員

報告事項及び諮問の概要は以下のとおり

報告事項(1) 令和７年度国民健康保険事業特別会計の決算について

会　長：報告事項(1)「令和７年度国民健康保険事業特別会計の決算について」を事務局から説明してください。

事務局：報告事項(1)「令和７年度国民健康保険事業特別会計の決算について」を説明。

会　長：ただいま事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。

会　長：令和６年度決算額と比較すると、令和７年度決算額の滞納繰越分の収納額が大幅に増えていますがその理由は何ですか。

事務局：差押件数の増加と、納税折衝時に滞納者からの同意が得られた場合に国民健康保険税の滞納分を優先して納付してもらっているためだと思います。その結果が滞納繰越分の収納額増加に表れていると考えています。

会　長：滞納繰越分の収納額の増加は、徴収部門である税務課徴収係の頑張りであることがよく分かりました。

委　員：各年度の滞納者数は増えているのでしょうか。

事務局：各年度の滞納者数は集計していないため不明です。

会　長：国民健康保険の被保険者が減る要因や今後の見通しはどのように考えていますか。

事務局：今後も社会保険の適用拡大が進むため、社会保険に加入する方は増えていくと考えています。少子高齢化の影響もあり、国民健康保険の加入者は減少すると考えています。

委　員：国民健康保険の被保険者は減少していく見込みであるのに、なぜ納付金の負担等市の負担は減らないのでしょうか。

事務局：医療の高度化により１人当たりの医療給付費は増えています。納付金の負担は給付費の増加に伴って増えていくものなので、市の負担は今後も増えていくものと考えています。

報告事項(2) 令和８年度国民健康保険税の状況について

会　長：続きまして、報告事項(2)「令和８年度国民健康保険税の状況について」事務局から説明してください。

事務局：報告事項(2)「令和８年度国民健康保険税の状況について」を説明。

会　長：ただいま事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。

会　長：令和７年度の国民健康保険税は医療・後期・介護の３区分合算で納付しているものだと思いますが、なぜ各区分で収納率に差が出るのですか。

事務局：各区分で税率が異なるため按分して収納しています。そのため、端数処理の積み重ねにより収納率に差が生じています。

諮問について

会　長：それでは次第の５「諮問について」について事務局から説明してください。

事務局：「諮問について」を説明。

会　長：ただいま事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。

＜質問なし＞

会　長：他にご質問もないようですので、議事を終了し進行を事務局へお返しします。

事務局：会長、ありがとうございました。　これをもちまして、本日の国民健康保険運営協議会は終了させていただきます。長時間にわたりありがとうございました。

閉会　　午後２時４０分